

＜2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿＞

誰もが簡単に計量できるハカリを提供し、作業時間の短縮とロス削減効果による持続可能な営農に貢献し、すべてのステークホルダーの満足度や利益が最大化されるように事業を推進するとともに、客観性と透明性の高い経営を表現することで、地域、そして世界の「持続可能な食」に貢献する企業を目指す。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標＞

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
<input type="checkbox"/> 環境	多様な人材の活躍推進と働き方改革	項目	バット休暇の新設
<input checked="" type="checkbox"/> 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
<input checked="" type="checkbox"/> 経済		未整備	新設(取得日数 5日間)
<input type="checkbox"/> 環境	障がい者や高齢者の戦力化ができる計量器を普及による雇用機会の推進	項目	障がい者・高齢者向けユニバーサルデザイン製品のプロジェクト数
<input checked="" type="checkbox"/> 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
<input checked="" type="checkbox"/> 経済		1件	5件
<input checked="" type="checkbox"/> 環境	循環型社会に貢献する製品開発・製造	項目	プラスチック製包装材の使用量
<input type="checkbox"/> 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
<input type="checkbox"/> 経済		90g	0g

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

＜パートナーシップ＞

社労士事務所NOAHとの連携により、人材管理と製品普及の面で前向きな取り組みを進めている。今後も社外の専門家からの多角的な視点を取り入れることで、組織の気づきや改善につなげ、更なる連携強化のもと、持続可能な経営体制の構築を目指す。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況＞

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境	業務拡大に伴い、新たな雇用機会を創出する事で年齢を問わない中途採用を実施する	2024年 2名
<input checked="" type="checkbox"/> 社会		
<input checked="" type="checkbox"/> 経済	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	人手不足と生産性向上優先の経営戦略変更により、積極的な中途採用ではなく、パート従業員の補充に留まり、目標は未達成だった。	1名(パート従業員)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input type="checkbox"/> 環境	障がい者や高齢者の戦力化ができる計量器を普及させる事で雇用機会の不平等をなくす	障がい者等雇用事業者の計量器導入台数 2021年 32台 →2024年 60台
<input checked="" type="checkbox"/> 社会		
<input checked="" type="checkbox"/> 経済	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	導入を検討される事業所の費用負担が重く、導入数が伸びず、目標は未達成だった。	40台
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
<input checked="" type="checkbox"/> 環境	海洋汚染防止のため、製品の脱プラスチック化を実行する	製品のプラスチック使用量 2021年 @1117g →2024年 @900g
<input type="checkbox"/> 社会		
<input type="checkbox"/> 経済	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	作業標準化による樹脂素材の外装から金属仕様への変更により樹脂部品量の大幅削減を図ることができた。	20g

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。